

早稲田から広げるQ条の会

(早稲田大学教職員 9 条の会)

シンポジウム

「東アジアにおける領土問題から平和を考える」

6月22日(土) 午後1時30分開会,
早稲田大学 15号館 02教室(早稲田キャンパス)

地図 <http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>

次の2つの講演を踏まえて質疑応答と討論の時間を設けます

松井 芳郎氏 (名古屋大学名誉教授)

「歴史と国際法のはざままで——尖閣紛争を考える——」

大日方 純夫氏 (早稲田大学)

「東アジア史のなかの『領土』問題」

松井氏は国際法の専門家で法律時報(日本評論社発行の専門雑誌)に「尖閣諸島について考える」のシリーズを著されています。また、大日方氏は日中韓3国の研究者・教師による歴史書「新しい東アジアの近現代史」(日本評論社)の編集委員で、日本近代史の研究者です。今回は、法律家・歴史家それぞれの観点から報告をしていただきます。

また、このシンポジウムは3月に歴史関係の団体と共同で開催したシンポジウム「国境を越える歴史認識を求めて」につながるもので、地理教育研究会、民科法律部会関東甲信越支部、歴史学研究会、歴史科学協議会、歴史教育者協議会の後援を受けています。

入場無料です。どなたでもどうぞ。午後5時半終了予定です。



お問い合わせは、お近くの賛同者、w9jyo2@googlegroups.com または
<http://forum-waseq.cocolog-nifty.com/blog/> へどうぞ

Q条の精神を世界規範に